

事業説明シート	1 市立病院の経営健全化(継続)
---------	------------------

部局課所 市立病院総務課
 総合計画 3章 安心して健康に過ごす助け合いのまち
 6節 医療体制の充実
 2項 市立病院経営の安定
 重点テーマ 少子長寿社会への対応

【 事業の目的】 地域の中核的市民病院として、市民の福祉の増進を目的とし、安全で良質な医療を提供するとともに、健全な病院経営を目指す。	【 事業の対象】 市民を対象
【 全体事業概要】 ・病床利用率の向上を図る。 ・透析部門の増床を図る。 ・医療機器の整備を図る。 ・結核病床の減少を検討する。	【 新年度事業概要】 ・医療機器、薬品、診療材料の購入経費の削減を図る。 ・病床利用率向上を目指す。 ・在院日数の短縮を目指す。 ・病診連携を進める。
【 備考】 ・総務省基準に基づき、一般会計から繰入している。 （平成13年度末で約16億円） ・県に不採算部門（精神病棟・結核病棟）への補助を要望している。	【 国県施策名】 【 国補助率】 【 県補助率】 【 起債充当率】

事業評価シート	1 市立病院の経営健全化(継続)
---------	------------------

【 事業成果(アウトカム)指標】					
指標	病院単年度収支を黒字とする				
選定理由	病院経営の年度ごとの収支状況を表している				
計算・推計方法	病院事業損益計算により				
留意事項	(単位：千円)				
指標の推移	H13年度	H14年度	H15年度	H16年度	H17年度
目標	-41,703	黒字化	黒字化	黒字化	黒字化
実績	332,041				

【 事業成果指標・備考】

【 事業手法・推進体制等見直しの余地(コスト削減、費用対効果向上)】	
○ 無 ● 有	コスト削減意識を病院全体の各組織に周知し、全職員に経営意識の徹底を図る。

【 民間事業との競合】	
○ 無 ● 有	

【 住民ニーズ、行政需要の動向】	
○ 増加傾向 ● 不変 ○ 減少傾向	（過去3年の延患者数） 平成11年度 入院～161,107人,外来～405,253人 平成12年度 入院～158,084人,外来～400,391人 平成13年度 入院～161,218人,外来～397,704人

【 市が今行う必要性】	
○ 無 ● 有	地方公営企業法第三条による経営の基本原則

【 事業外部の条件整備(関連事業等)】	
○ 問題無 ● 要配慮	国による医療制度改革の内容（公的医療保険と診療報酬体系の見直し等）には十分配慮を要する。

17病院 1

事業説明シート	2 市立病院高度医療整備事業(新規)
---------	--------------------

部局課所 市立病院総務課
 総合計画 3章 安心して健康に過ごす助け合いのまち
 6節 医療体制の充実
 1項 市立病院医療体制の充実
 重点テーマ 少子長寿社会への対応

【 事業の目的】 医療技術が急速に進歩するとともに、高度医療に対する市民ニーズも増してきている。 市内の中核的病院として、安全で良質な医療を提供するため、医療機器と検査機器の整備を年次計画を立てて進める。 本事業の実施により、市民ニーズに応えとともに、経営の安定化を図る。	【 事業の対象】 市民を対象とする。
【 全体事業概要】 ・リニアック(放射線治療機器)、MRI(核磁気共鳴画像装置)、CT(全身用コンピュータ断層撮影装置)、アンギオ(循環器X線撮影装置)を順次更新して、高度医療体制の基盤整備を進める。	【 新年度事業概要】 ・リニアックの更新。
【 備考】	【 国県施策名】 【 国補助率】 【 県補助率】 【 起債充当率】 100%

事業評価シート	2 市立病院高度医療整備事業(新規)
---------	--------------------

【 事業成果(アウトカム)指標】					
指標	リニアック：放射線治療がん患者の診療収入 検査機器：検査収入				
選定理由	医療機器による収入を表している				
計算・推計方法	稼働額データより				
留意事項	診療報酬改定の影響を受ける				
指標の推移	H13年度	H14年度	H15年度	H16年度	H17年度
目標			43,400,000	87,200,000	98,300,000
実績					

【 事業成果指標・備考】

【 事業手法・推進体制等見直しの余地(コスト削減、費用対効果向上)】
● 無 ○ 有

【 民間事業との競合】
○ 無 ● 有
市内にある大学病院をはじめ、秋田赤十字、中通、秋田組合が競合相手となる。

【 住民ニーズ、行政需要の動向】
● 増加傾向 ○ 不変 ○ 減少傾向
特に、リニアックについては、患者からの苦情や導入要望がある。

【 市が今行う必要性】

☐ 無 ☒ 有	リニアックについては、使用不能のため、がんの放射線治療に支障をきたしている。また、患者のニーズに早急に応える必要がある。
--	--

[事業外部の条件整備(関連事業等)]	
☒ 問題無 ☐ 要配慮	

17病院 2